

自由民主党 いわて県連だより

Vol. 28
2020年9月
発行責任者：
自由民主党
岩手県支部連合会



予備選挙開票結果	投票総数4870票	得票率
菅義偉 氏	3039 票	62%
石破茂 氏	1594 票	33%
岸田文雄 氏	222 票	5%
無効票	15 票	0%

※党員・党友8230人を対象とし、投票率は59.17%
2018年の総裁選から2.66ポイント上回る。
2006年以降の総裁選における予備選、
党員投票で最も高い数字

九月十四日、自由民主党は党大会に代わる両院議員総会を都内のホテルで開き、菅義偉官房長官が岸田文雄政務調査会長、石破茂元幹事長を破つて勝利し、第二十六代総裁に選出されました。菅候補377票、岸田候補89票、石破候補68票で菅候補が過半数を獲得しました。十六日には臨時国会が開かれ安倍晋三首相の後継となる第99代首相に指名され、新内閣が発足いたしました。首相交代は7年8ヶ月ぶりです。

これに先立ち、自民党岩手県連は本県に割り当てられた3票の投票先について予備選挙を実施いたしました。予備選挙は八月末日時点での党員・党友資格を持つ人を対象とし、得票数に応じたドント方式で各候補に割り振ることとしました。投票結果を受け、菅候補に2票、石破候補に1票を投じました。

新たに菅総裁体制となり、喫緊の課題であるコロナ対策、震災復興や地方創生を力強く進めるべく、党本部との連携を密にしつかりと取り組んでまいります。

これまで取り組んでこられた水産改革、放送改革等の各種規制改革の実績や、行政改革、デジタル化推進の必要性、自民党青年局の活動・役割などについてお話をされました。特にこれからの中の政治家は地域の住民、行政、企業をつなげていく地域のコーディネーターとしての役割を果たしていくかなければいけないと強く訴えられました。

その後講座の内容を深めるために、藤原会長を交えたフリー・ディスカッショ nを実施。最後に各班5班に分かれ担当役員を交えて「コロナ禍においての経済対策」をテーマにグループワークを開催し、各班代表から取り纏めた提言について発表をいたしました。

第三回講座は十月四日（日）山本宮古市長を迎えての開催を予定しております。



九月五日（土）、「いわて政治塾」第二回講座を開催いたしました。講師に自民党青年局長の小林史明衆議院議員をお招きし、「地域における政治家のリーダーシップ」と題してご講演いただきました。

いわて政治塾第一回講座を実施

「いわて県連だより」のバックナンバーは自民党岩手県連ホームページからもご覧になれます。

自民党岩手県連HP <http://www.jimin-iwate.gr.jp>